

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年10月10日(2019.10.10)

【公開番号】特開2019-141127(P2019-141127A)

【公開日】令和1年8月29日(2019.8.29)

【年通号数】公開・登録公報2019-035

【出願番号】特願2018-25546(P2018-25546)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 3

【手続補正書】

【提出日】令和1年8月9日(2019.8.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技領域に遊技媒体を発射することにより遊技が可能な遊技機であって、

前記遊技領域は、

遊技媒体が進入可能な進入領域と、

遊技媒体が進入不能または進入困難な第1状態と進入し易い第2状態とに変化可能で、
前記進入領域よりも上方位置に配置可能な第1非電動可変手段と、

遊技媒体が進入不能または進入困難な第1状態と進入し易い第2状態とに変化可能な前記第1非電動可変手段とは異なる第2非電動可変手段と、

を有し、

前記第1非電動可変手段は、第1作動部材が動作することにより前記第1状態から前記第2状態に変化し、

前記第2非電動可変手段は、第2作動部材が動作することにより前記第1状態から前記第2状態に変化し、

前記進入領域に進入した遊技媒体が前記第1作動部材に作用して該第1作動部材を動作させるとともに、該第1作動部材に作用した遊技媒体が前記第2作動部材に作用して該第2作動部材を動作させるための作動経路を備える

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

前記課題を解決するために、本発明の手段Aに記載の遊技機は、

前記遊技領域は、

遊技媒体が進入可能な進入領域と、

遊技媒体が進入不能または進入困難な第1状態と進入し易い第2状態とに変化可能で、
前記進入領域よりも上方位置に配置可能な第1非電動可変手段と、

遊技媒体が進入不能または進入困難な第1状態と進入し易い第2状態とに変化可能な前

記第1 非電動可変手段とは異なる第2非電動可変手段と、
を有し、

前記第1非電動可変手段は、第1作動部材が動作することにより前記第1状態から前記第2状態に変化し、

前記第2非電動可変手段は、第2作動部材が動作することにより前記第1状態から前記第2状態に変化し、

前記進入領域に進入した遊技媒体が前記第1作動部材に作用して該第1作動部材を動作させるとともに、該第1作動部材に作用した遊技媒体が前記第2作動部材に作用して該第2作動部材を動作させるための作動経路を備える

ことを特徴とする。

また、手段1の遊技機として、

遊技領域（例えば、遊技領域10）に遊技媒体（例えば、遊技球P）を発射することにより遊技が可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機1）であって、

前記遊技領域は、

遊技媒体が進入可能な進入領域（例えば、通過ゲート41や普通可変入賞球装置28など）と、

遊技媒体が進入不能または進入困難な第1状態（例えば、閉鎖状態）と進入し易い第2状態（例えば、開放状態）とに変化可能な第1非電動可変装置（例えば、非電動可変入賞球装置6A）と、

遊技媒体が進入不能または進入困難な第1状態（例えば、閉鎖状態）と進入し易い第2状態（例えば、開放状態）とに変化可能な前記第1非電動可変装置とは異なる第2非電動可変装置（例えば、非電動可変入賞球装置6B）と、

を有し、

前記第1非電動可変装置は、第1作動部材（例えば、非電動可変入賞球装置6Aの作動部材304）が動作することにより前記第1状態から前記第2状態に変化し、

前記第2非電動可変装置は、第2作動部材（例えば、非電動可変入賞球装置6Bの作動部材304）が動作することにより前記第1状態から前記第2状態に変化し、

前記進入領域に進入した遊技媒体が前記第1作動部材に作用して該第1作動部材を動作させるとともに、該第1作動部材に作用した遊技媒体が前記第2作動部材に作用して該第2作動部材を動作させるための作動経路を備える（例えば、普通可変入賞球装置28に進入した後、作動経路204に進入した一の遊技球Pが作動経路204を流下し、上段の非電動可変入賞球装置6Aの作動部材304、中段の非電動可変入賞球装置6Bの作動部材304、下段の非電動可変入賞球装置6Cの作動部材304の順に接触して作動部材304を回動させることにより、非電動可変入賞球装置6A, 6B, 6Cが順次開放状態に変化する。図18参照）

ことを特徴としてもよい。

この特徴によれば、一の遊技媒体により複数の非電動可変装置を異なるタイミングで第1状態から第2状態に変化させることができるので、遊技の興奮が向上する。